

第6回仙北市議会9月定例会

(招集日：平成22年9月2日 最終日：9月27日)

平成22年度一般会計、特別会計補正予算はともに全会一致で可決



仙北市議会9月定例会の日程は9月2日から9月27日までと長期間となった。毎年仙北市の9月定例会の期間中は、角館のお祭り、田沢湖マラソン、生保内節全国大会、100キロマラソンなどの行事が盛りだくさんである。実質審査したのは、本会議5日、企業会計決算特別委員会2日、常任委員会2日と合計9日であった。9月27日の最終本会議では、3常任委員長及び

決算審査特別委員長の審査報告の後、採決が行われ、それぞれ全会一致で可決、認定された。

**一般会計補正予算
総額3億5338
万円!**

歳出の主なもの

- 旧田沢湖高原スキー場レストハウス解体。神代駅自転車置き場整備。上菅沢J A跡地の調査費
1, 739万円
- 地域運営体活動推進交付金 西明寺、松木内、神代地域
1, 500万円

○集落集会所建設事業費補助金 中生保内他
292万円

○温泉休養施設管理運営費 クリオン レジオネラ菌対策
441万円

○児童福祉施設費 A E D購入、市内保育園9ヶ所分
438万円

○子宮頸がん予防ワクチン接種追加分(400名)
1, 417万円

○病院事業会計補助金
医師1名 薬剤師1名
看護師4名分の奨学金

1, 417万円
○緊急雇用対策・ふるさと雇用対策費、3名増員分
658万円

○水田利活用自給力向上事業費、麦、大豆、そば等へ補助金
2, 000万円

○市営住宅管理費 菅沢住宅の浄化槽ポンプ整備
324万円

○農業用施設災害復旧費
246ヶ所
4, 700万円の60%助成
2, 820万円

市政報告の主なもの

**市立保育園、幼稚園
早ければ平成24年度
に民営化を開始する**

市立保育園を取り巻く主な課題、問題点として30名以上の上っている保育児童、待機児童をどのように解消し、どのように保育等の質を高めるか。

また保育士の60%以上が臨時保育士などの有期雇用で、今後更に5年間で17人の正職員が定年年齢に達するなど保育士の確保と昭和50年代に建築

された老朽化した施設の改築も大きな問題であり、これらの解決方法として民営化は有効な手法と考え平成24年度には民営化による保育園の営業開始ができればと考えている。

医師確保対策について
首都圏在住者で地域医療を目指す医師へアプローチ

市としては秋田大学医学部付属病院を始め秋田県健康福祉部医務薬事課及び医師確保対策室など医師の招聘活動を展開しているが、成果は見えていない現状である。

このような中で自治医科大学を訪問する一方、医務薬事課に自治医科大学卒業医師の継続配置をお願いし、中野健康福祉部長宛の要望書を提出している。

また首都在住者の地域医療を目指す医師がいると聞き公的病院に限らず私立病院等にもアプローチをする予定である。

医療局の設置と事業管理者の選任について

医療局設置の準備室を今年中に設置する

平成23年度から組織再編による事業の一元化を行う予定でしたが、経営の効率化を図る上で早い段階での設置が望ましいと判断し、現在組織の立ち上げに向けて準備を進めている。また医療局設置に伴い、経営はもとより人事等病院事業管理者の辣腕に期待をかける考えでいる。

**仙北市住宅リフォーム促進事業
について**

住宅リフォーム促進事業の利用者状況は8月末現在で申し込み件数は140件補助額1, 737万円となっている。

地元への経済波及効果は3億8, 800万円に上り、事業効果として市内工務店など仕事や雇用創出につながっている。この事業は平成24年度までの3年間の継続する予定である。

(田口喜 記)